

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成23年度第1回臨時会
開催日時	平成23年9月29日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：小西委員、谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員、大澤委員、飯島委員 事務局：西村副館長、山川庶務係長 吉野庶務係主査
傍聴者	0名
議題	1 平成22年度図書館事業評価（二次評価）について 2 その他
会議資料の名称	1 平成22年度総括表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 時間になりましたので、図書館協議会第1回臨時会を始めさせていただきます。最初にその他の報告を副館長からしていただき、その後、二次評価という順序で行ないたいと思います。</p> <p>副館長： 4件の報告を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前回配布した図書館事業概要に2ヶ所程、誤りがありましたので、訂正をお願いします。</li> <li>2. 第2期子ども読書活動推進計画の策定記念事業として12月3日に「子どもの本まつり」を予定しており現在準備中です。</li> <li>3. 図書館大会の参加申し込みを本日举行したいと思います。</li> <li>4. 図書館協議会の視察場所を皆様のご意見を聞いて決定したいと思います。</li> </ol> <p>会長：</p>	

視察場所についてですが、色々ご意見のあった中で国文学研究資料館資料室ということではよいでしょうか。時期については11月10日（木曜日）か17日（木曜日）午後1時か1時半に高松駅現地集合ということで、詳細は副館長の交渉後決定次第、皆様に連絡することにしたいと思います。

委員 「有山 生誕100周年記念集会」のお知らせ。

○会長：

次に事業評価に移ります。

今回の臨時会で終えるためには、本日事業名17まで協議し、評価を決めなければなりませんので、よろしくお願ひします。

前回10までは終えていますので、今回は11から協議をし、終了後、1から意見等を付け加えていきたいと思ひます。

委員：

図書館協議会が図書館の職員を評価するということに対して疑問を持っている方もいると思ひますが、行政評価において、さまざまな分野で行政は評価しなければならないとなっているのと同様で、協議会の委員は図書館の館長から諮問を受け評価を行っています。市民としてみて図書館はどうかということでは評価を行っていただけ良いのかと思ひます。

委員：

質問ですが、この会議は市民に対してオープンですか。

副館長：

オープンです。市報等にも掲載していますし傍聴も認められています。

委員：

市の行政評価等をパソコンで見ると、4次評価まで行っているところもあるが、ABCのように細かく評価を行っているのは見る限りこれだけです。

委員：

学校は行っています。

委員：

諮問を与えられて行っているのであれば良いのですが、人の作業能力の評価を行うような権限があるのかという気がしましたので。

○会長：

それでは11から評価を行います。

委員：

11 保存の関係について追加したほうが良いのではないかと。現状ではスペースが

不足しているので、スペースの確保が必要と思われる。

副館長：

保存については図書館の大きな課題となっていますので、保存スペースの確保ということについては挙げていただきたいと思います。

委員：

12 ハンディキャップサービスPRアンケートにより利用者が徐々に増加している。これらの努力は評価できる。

在住外国人へのサービスの充実強化を図っていくことが必要ではないかと思われる。その際にハンディキャップサービスの意味を誤解されないよう「図書館利用に障害のある人へのサービス」と記載する。

会長：

13 ブックスタートはそれなりの評価を得ている。健康保険係との横の連携が良くできている。

委員：

14 Bの理由として、「市民に十分周知されていなかった」ということを書いたほうが良い。

副館長：

Bの理由を書き加えるようにします。

委員：

15 多摩六都科学館との連携が弱かったので記載する。

委員：

質問ですが、15の事業実績で「図書館講座講師派遣1回」とあるがどのような内容のものなのか。

委員：

わかりやすいように、「大学主催の講座への講師派遣」というように記載する。

会長：

16 最近、嘱託職員の接遇が良くなっていると感じた。研修の成果ではないか。

副館長：

今年の職員研修のテーマが接遇でした。職員、嘱託を含めて研修をおこないました。Cという評価は、外部への研修が減少、個別研修ができなかったことによりです。

委員：

計画的に研修を行わないと、職員のレベルが上がっていかない。研修に参加できる態勢を整えなくてはいけない。

○会長：  
研修を行ったことを書き加えたほうが良い。

○委員：  
組織として職員研修を行っていくということを記載したほうが良い。

会長：  
17 Dとは何か理由があるのでしょうか。時期が間に合わなかったということですか。

委員：  
予定どろりにいかなかったからといってDということは無いのではないか。取り組みに対して西東京は早かった。

○委員：  
図書館サービスの評価という事業名が誤解をあたえかねないので「図書館サービス評価の実施」にする。

○会長：  
一通り評価を終えたので、1から17までの内容に追加事項等があれば言っていたきたいと思います。

○会長：  
1 「保存館の検討を行った」とあるが具体的には何を行ったのですか。

○副館長：  
一般書のみ検討を行ない、他の資料については何も行っていないので、全体としての検討は行っていません。

○委員：  
1は保存館の問題があるのでBである。

○委員：  
3ですが、特に問題がなく利用者側から不満等があるわけではないし、システムに不備もないのでAで良いのではないか。

○委員：  
2, 3はAですね。

○委員：

4、5 Aである。リクエストの対応も早い。これ以上貸出冊数を増やすのは無理である。

○委員：

6 広報については、多摩地区ではトップレベルだと思う。団体貸出についても利用度等が高いのもっと評価されても良いと思う。

副館長：

貸出冊数等については、前年度との対比において評価していますので、前年と実績数が同程度であると評価がそれなりになってしまいます。

○委員：

7-2 映像資料については未実施であるので継続して検討していただきたい。Bである。

○委員：

保存については不満がある。雑誌についてはタイトルが少ないのではないか。西東京市の中央図書館レベルだと500タイトルくらいは欲しい。

副館長：

定番は入れやすいのですが、雑誌は入れ替わりが激しいので、どうしても新刊雑誌は敬遠してしまうところがありますので。

○委員：

8はA、9、10については良くやっている。学校との連携も実に良くやっている。Aである。

会長：

10「CATCH」のように若い人達と協働編集を行えた事は評価に値する。

○委員：

11からは今日、話したことなのでこのままでよいのではないか。

○委員：

12はB、13はA、14はB、15はA、16はB、17はBにしてください。

○会長：

次回は11月24日になります。それまでに視察がありますが、そちらの連絡はよろしく願います。それでは、本日の協議会を終了いたします。